

# 職労第92回定期大会 立病院労組第8回定期大会

月12日(水)大阪府社会福祉会館5階ホール  
9時受付 9時30分開会



府職労と病院労組は12月12日、定期大会を開催します。この1年間の運動の総括を行い、向こう1年間の要求実現に向けて方針を決定する重要な大会です。

また、今年の大会は、野田首相が国民の大きな怒りの声によって解散に追い込まれ、総選挙の直前に開催される大会となります。大会を大きく成功させるとともに、総選挙で政治の流れを根本から転換させましょう。大会の成功に向けて、大会のポイントを小山副委員長に聞きました。

東日本大震災や福島原発事故が起こり、「いのちを守る災害に強いまちづくり」をはじめ、憲法がいきる社会が求められています。また、深刻な経済不安をはじめ、疲弊する地域と雇用破壊が広がっているもとで、「地域住民の利益を守る」自治体労働者の役割が求められています。

しかし、大阪では橋下「維新の会」によって、憲法と地方自治を否定し、職員を「全体の奉仕者」から「首長のしもべ」に変質させ、職員と住民を分断する動きが強まっています。府職労は、3年9カ月間進めてきました。

## 住民共同を広げ、憲法と地方自治が生きる自治体をつくらう！ わき起こる国民的運動と連帯し、根本から政治の流れを変え、いのちと生活、安全をまもる社会をつくらう！

大会スローガン

### 小山副委員長に聞く



小山副委員長

今こそ求められる自治体労働者の役割

「仕事を直すアンケータ」の実施や住民のみならず、職員も「全体の奉仕者」から「首長のしもべ」に変質させ、職員と住民を分断する動きが強まっています。府職労は、3年9カ月間進めてきました。

5年目に入った賃金カットの撤回、給料表のマイナスイ改定反対、業務量に見合った人員配置、相対評価の本格実施の中止など、職場の声にもとづく要求実現に全力をあげなければなりません。

橋下府政、その後の松井府政のもと、理不尽な攻撃に真っ向から対決し、府民のいのちと暮らし、安心・安全を守る府政の実現をめざして奮闘してきました。また、全職員を対象とした「仕事を直すアンケータ」の実施や住民のみならず、職員も「全体の奉仕者」から「首長のしもべ」に変質させ、職員と住民を分断する動きが強まっています。

私たちが健康で安心して働き続けられる職場づくりを進めるとともに、経験や専門性を大いに発揮し、府民サービスの向上など、職務に専念できる賃金・労働条件を確立することが急務です。

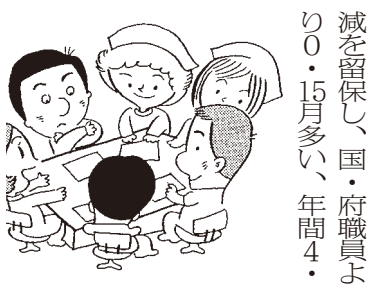
利用者に影響が出ている」という声もあがっています。

### 職務に専念できる賃金・労働条件を

私たち府職員の賃金は15年にもわたって抑制され、それに連動して府の民間労働者の所得も減少しています。その結果、大阪経済は全国にも増して低迷し、府民生活を悪化させています。また、大幅な人員削減も

原発ゼロ、消費税増税反対、オスプレイ配備反対、TPP参加阻止など、多くの国民がそれぞれの要求にもとづいて、声をあげ行動し、政治を動かす原動力となつています。

### 国民の声と行動に連帯して奮闘しよう



「こころ!」を主催し、74

女性労働学校

女性の一生における女性ホルモンの変化と病気、メンタルヘルスから睡眠の重要性など幅広い内容でした。「女性にとってLDLコレステロールは悪玉コレステロール」

11月16日、病院労組は理事長あてに秋季年末要求書を提出しました。府立病院機構当時は、一時金(ボーナス)について、12月10日には2・175月支給すると回答しましたが、「来年度から(0・15月削減)」

11月18日、府立病院労組は、他の医療関係団体と共に、大阪府の支給率(年間3・95%)にあわせたい」との考え方を示しました。

大阪医療研究集会を開催



11月16日、病院労組は理事長あてに秋季年末要求書を提出しました。府立病院機構当時は、一時金(ボーナス)について、12月10日には2・175月支給すると回答しましたが、「来年度から(0・15月削減)」

11月18日、府立病院労組は、他の医療関係団体と共に、大阪府の支給率(年間3・95%)にあわせたい」との考え方を示しました。

大阪医療研究集会を開催

中田先生は「社会保障を理由に消費税をあげるの理由に、社会保障に対する国民の負担を軽減する」と述べ、景気後退での減収・財政危機はさらに深まる。大企業の負担を軽減するもの。20兆円も負担増すれば、景気後退での減収・財政危機はさらに深まる。大企業の負担を軽減するもの。20兆円も負担増すれば、景気後退での減収・財政危機はさらに深まる。

2011年度の知事部局の健康診断結果(一般定期健診十人間ドック)が示されました。受診率は一般定期健診92・1%、人間ドック98・3%でした。結果(一般定期健診十人間ドック)はグラフのとおりで、なんと7割を超える職員が、より健康に注意して勤務をしなければならぬ状況となっています。また、今年度7・9月の時間外勤務実績は、平均8・3時間で2011年度と比較して1・2%増加し、年間360時間を超えるペースの職員は364人、2011年度同時期より

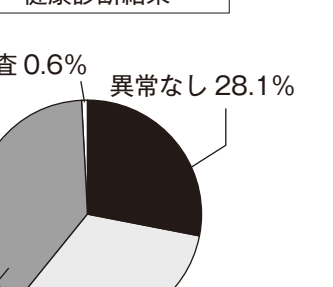
23%も増加しています。また、時間外勤務の届出をせず、時間外勤務の実態のもと、健康に悪影響を及ぼしている職員もいるのではないかと危惧されます。労働安全管理者(所属長)は、職員が健康に勤務をしているか等の注意を払わなければならない責任があります。50人以上の職場は月1回の安全衛生委員会の開催を求め、人員減での過密労働、時間外勤務増、人事評価でのストレス増大の実態のもと、健康悪化の職員はいないかなど調査検討しましょう。安全衛生委員会の活躍が今こそ求められています。吉田 澄世

減の根拠にはなりません。病院労組は秋季年末要求書の実現のため、28日に団体交渉を行い、一時金削減提案の撤回をはじめ、要求実現めざして奮闘します。

減の根拠にはなりません。病院労組は秋季年末要求書の実現のため、28日に団体交渉を行い、一時金削減提案の撤回をはじめ、要求実現めざして奮闘します。

2011年度の知事部局の健康診断結果(一般定期健診十人間ドック)が示されました。受診率は一般定期健診92・1%、人間ドック98・3%でした。結果(一般定期健診十人間ドック)はグラフのとおりで、なんと7割を超える職員が、より健康に注意して勤務をしなければならぬ状況となっています。また、今年度7・9月の時間外勤務実績は、平均8・3時間で2011年度と比較して1・2%増加し、年間360時間を超えるペースの職員は364人、2011年度同時期より

23%も増加しています。また、時間外勤務の届出をせず、時間外勤務の実態のもと、健康に悪影響を及ぼしている職員もいるのではないかと危惧されます。労働安全管理者(所属長)は、職員が健康に勤務をしているか等の注意を払わなければならない責任があります。50人以上の職場は月1回の安全衛生委員会の開催を求め、人員減での過密労働、時間外勤務増、人事評価でのストレス増大の実態のもと、健康悪化の職員はいないかなど調査検討しましょう。安全衛生委員会の活躍が今こそ求められています。吉田 澄世



は、職員が健康に勤務をしているか等の注意を払わなければならない責任があります。50人以上の職場は月1回の安全衛生委員会の開催を求め、人員減での過密労働、時間外勤務増、人事評価でのストレス増大の実態のもと、健康悪化の職員はいないかなど調査検討しましょう。安全衛生委員会の活躍が今こそ求められています。吉田 澄世



また、大幅な人員削減も、筆での要求実現をめざし、進められ、職場からは「仕事、全力で奮闘します。事がまわらない」府民・



# 公正・公平な人事評価制度の確立で やりがいある仕事を！

## 人間らしく働くルール！ デイリースেন্ট・ワークの実現へ

憲法・地方自治に  
基づく公務員の仕事を  
するために

私たち公務員の仕事は、営利の追求を目的とする民間企業と異なり、何よりも憲法と地方自治法に基づき、国民主権や民主主義の表現、基本的人権の保障、恒久平和など、憲法原則を遵守し、さまざまな課題で活かし発展させることが重要です。具体的には、①仕事を通じて住民のニーズや地域の実態を把握し、憲法・

地方自治法の理念をふまえて個々の課題に対応すること。②チームや組織全体での対応を基本とし、「全体の奉仕者」としての公平・公正性や中立性、行政の専門性を活かした仕事が行われること。③商品化された「サービス」の切り売りではなく、住民の暮らしや福祉の増進を目的とする公務サービスであること。④常に職員自ら参加意識の向上と自発性を喚起し、民主的で効率的な業務運営を遂行する能力が求められること。

⑤職員個人の能力を尊重し、組織全体の行政能力が高まる民主的な運営などを原則にした「仕事のあり方」が今こそ問われています。

企業が人員削減で生産性の向上を追求したことで、高い技術や志を持った人材は育たなくなり、技術開発で生産性を向上させる努力が軽視されるようになっていきました。

この間、評価結果の賃金への反映については、当局に賃金決定の裁量を委ねる性質のものであり、一方的な労働条件の変更を認めない立場から賃金決定の変更にかかる重要な「労使交渉事項」として厳しく追及してきました。さらに、評価制度の「反対が賛成か」だけの議論ではなく、公正・公平で客観基準に基づく評価制度に向けて、民主的な対案（評価の透明性や本人の納得性など）をかけた交渉で追及し、それを背景に職場合意と庁内世論を形成してきました。引き続き、職員基本条例の具体化を許さず、これまでの職場要求と庁内世論を背景にこれま

### 人間らしく働きたい 仕事の実現へ、デイ リースेंट・ワークの実現を

府職労は、職場に差別と分断をはかる新人事評価制度の導入に反対し、職場からの要求に根ざす運動をすすめてきました。

厚生労働省の「労働白書」では、企業が導入した業績・成果主義賃金制度やパート・派遣など非正規雇用の増加が影響して、労働者の満足感である「仕事のやりがい」「雇用の安定」「収入の増加」等から長期的な低下が見受けられると指摘しています。さらに、「非正規雇用の拡大が生産性の上昇を停滞させている」として正規雇用の拡大を求めており、これまで政府・厚労省や財界がすすめた労働力の流動化（非正規雇用化）と成果主義賃金制度こそ大きな原因であることとを実質的に認めています。このように、仕事への正当な評価に基づく正当な処遇こそが労働意欲の源泉であり、評価の公平性と客

## 「成果主義」 を考える



府職労が毎月行っている働くルール宣伝

民間では、リストラ計画による大幅な人員削減の結果、短期的に生産性を上げても労働者が潜在的に雇用不安を拡大し、労働意欲を減退させています。リストラ経営で中高年を退職に追い込み、能力・成果主義で賃下げに成功しても、「技

術の継承」ができなくなり、人事評価への不満が高まり、労働意欲を低下させることも証明されています。

政府・厚労省も  
成果主義制度の失敗を  
認めざるを得ない

府職労は、職場に差別と分断をはかる新人事評価制度の導入に反対し、職場からの要求に根ざす運動をすすめてきました。この間、評価結果の賃金への反映については、当局に賃金決定の裁量を委ねる性質のものであり、一方的な労働条件の変更を認めない立場から賃金決定の変更にかかる重要な「労使交渉事項」として厳しく追及してきました。さらに、評価制度の「反対が賛成か」だけの議論ではなく、公正・公平で客観基準に基づく評価制度に向けて、民主的な対案（評価の透明性や本人の納得性など）をかけた交渉で追及し、それを背景に職場合意と庁内世論を形成してきました。引き続き、職員基本条例の具体化を許さず、これまでの職場要求と庁内世論を背景にこれま

### 府職労共済の改定のお知らせ

|             |                | 改正後(円)    |                     |       |
|-------------|----------------|-----------|---------------------|-------|
| 死亡<br>弔意金   | 組合員            | 普通死亡      | 100,000             |       |
|             |                | 不慮死亡      | 200,000             |       |
|             | 配偶者死亡          | 50,000    |                     |       |
|             | 子ども死亡          | 20,000    |                     |       |
| 住宅災害<br>見舞金 | 火災等            | 全焼・全壊     | 200,000             |       |
|             |                | 半焼・半壊     | 180,000             |       |
|             |                | 一部壊・損     | 60,000              |       |
|             |                | 消防冠水      | 60,000              |       |
|             | 風呂の<br>空焚き     | 浴槽と釜      | 60,000              |       |
|             |                | 釜のみ       | 20,000              |       |
|             | 風水害に<br>よる損害   | 全壊・流失     | 60,000              |       |
|             |                | 大規模半壊     | 42,000              |       |
|             |                | 半壊・半流失    | 30,000              |       |
|             |                | 一部壊       | 2,000               |       |
|             | 床上浸水           | 6,000     |                     |       |
|             | 親族死亡           | 20,000    |                     |       |
| 傷病<br>見舞金   | 組合員本人<br>の傷病休業 | 休業(30日以上) | 6,000               |       |
|             |                | 休業(90日以上) | 12,000              |       |
| 祝い金         | 組合員結婚          |           | 20,000              |       |
|             | 子どもが生まれた       |           | 10,000              |       |
|             | 入学卒業           | 小学校入学     | 図書カード               | 3,000 |
|             |                | 中学校入学     | 図書カード               | 2,000 |
|             |                | 中学校卒業     | 図書カード               | 2,000 |
| 結婚          |                | 10,000    |                     |       |
| 退職<br>見舞金   | 退職             | 5年未満      |                     |       |
| 5年以上        |                | 6,000     |                     |       |
| 障害<br>見舞金   | 障害に<br>なったとき   | 病後後遺障害    | 100,000~4,000       |       |
|             |                | 不慮事故後遺障害  | 200,000~8,000       |       |
| 長期組合員表彰     |                | 20年・30年   | 図書カード・旅行券<br>10,000 |       |

府職労は組合員のお祝いや「もしものとき」の助け合いとして、府職労共済制度を設けています。今後も南海トラフ地震の発生などが予測される中、大規模災害が発生し、多くの組合員が被害を受けた場合も、十分に共済金を給付できるように、府職労共済の給付内容・水準を自治労連組織共済に準じた内容に改正することを第2回中央委員会(11月21日開催)で提案・発議し、定期大会(12月12日開催)で承認し、2013年1月1日より施行する予定としています。



府職労学習会

神戸女学院大学教授の石川康宏さんの「日本の政治と社会はどうなっている」というテーマでの講演がありました。歴史を振り返りながら、日本の政治の根本問題(アメリカ軍の占領後、日米安保でアメリカの従属国)について分かりやすいお話がありました。また、公務員ハッシング

### しっかり学んでいきいき働く 府職労学習会・女性労働学校

11月17日、府職労は女性労働学校(女性部主催)学習会「日本の政治と社会はどうなっている」を名が参加し学習を深めました。

田頭愛美さん(保健師・今治市役所女性の健康推進委員)を講師に迎えて「自分の体を知っていきいきと働き続けよう」というテーマで、女性の健康について学習しました。日本における女性の地位の問題から、



「女性にとってLDLコレステロールは動脈硬化のリスクにならない、むしろ減りすぎると、血管や組織がもろくなり、免疫も低下し、病気にかりやすくなる」という統計や住民健康結果を示してお話したいへん新鮮でした。また、睡眠が免疫力を高め、記憶の整理と固定、嫌な記憶を忘れる力があること、免疫力を高める食事、うつ病と更年期障害の見分け方など興味深い話が続き、あっという間の2時間でした。